

春季研究発表会のご案内

会員各位

2022年4月吉日
日本独文学会

皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

来る5月7日(土)、5月8日(日)の両日、立教大学におきまして日本独文学会春季研究発表会を開催いたします。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。プログラムは、本ファイルに掲載してあります。なお、総会は6月4日(土)15:00よりズームで開催いたします。Zoom情報に関しては、後日、会員の皆さまに会員フォーラムにてお伝えします。

※本研究発表会ではプログラム冊子の配布を行いません。当日は、本ファイルを印刷ないしは電子データとして閲覧可能にしてご持参ください。

※参加費：会員の方は無料です。非会員の方は、事前登録をした方にのみ参加費の納入方法をお知らせしますので、4月25日(月)までに参加費1,500円をお支払いください。支払った方にのみ、臨時入構証をお送りします

Einladung zur Frühlingstagung

Liebe Mitglieder der JGG,

die Frühlingstagung der Japanischen Gesellschaft für Germanistik findet am 7. und 8. Mai 2022 an der Rikkyo Universität statt. Wir freuen uns auf Ihre Teilnahme. Das Programm der Veranstaltung finden Sie auf den folgenden Seiten. Die Vollversammlung findet am Samstag, den 4. Juni um 15.00 Uhr via Zoom statt. Über den Einladungslink werden die Mitglieder im Mitgliederforum informiert.

※Da es in diesem Jahr keine Print-Version des Programmheftes gibt, empfehlen wir, das Programm ausgedruckt oder in digitaler Form auf einem Ihrer Geräte mitzubringen.

※Für die JGG-Mitglieder wird keine Teilnahmegebühr erhoben. Für Nicht-Mitglieder fällt allerdings ein Teilnahmebeitrag von 1.500 Yen an, der bis zum 25. April 2022 zu überweisen ist.

日本独文学会
春季研究発表会

2022年5月7日（土）・5月8日（日）

第1日 午前11時より

第2日 午前10時より

会場 立教大学池袋キャンパス

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1

E-Mail: tagung2022rikkyo@jgg.jp

参加費

会 員 無料

非会員 1,500 円

日本独文学会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-34-6 南大塚エースビル 603

Tel./Fax: 03-5950-1147

E-Mail（メールフォーム）：<http://www.jgg.jp/mailform/buero>

第1日 5月7日(土)

感染対策のため、会場での参加受付は行いません

開会の挨拶(11:00~11:10)

A会場(8号館・8101室)

立教大学 新野 守広
会 長 井出 万秀

ドイツ語学文学振興会賞授賞式・総会(11:20~12:20)

A会場(8号館・8101室)

ドイツ語教育部会総会(12:30~13:00)

B会場(8号館・8201室)

シンポジウムI(14:00~17:00)

A会場(8号館・8101室)

統治／抵抗の技法——戦間期ドイツ語圏における諸「装置」の研究——

司会：宮下 寛司

1. 判子をもらいに行く／失業中である
クラカウアー「職業紹介所について」の装置論的試論 深澤 一輝
2. 恐慌と祝祭——ベンヤミンにおける映画観客群集 菅谷 優
3. 舞踊美学の裏面 宮下 寛司
4. 神秘体験としてのスポーツ
ムージル『特性のない男』におけるスポーツをめぐる近代人の葛藤
宮下 みなみ

口頭発表：語学・ドイツ語教育(14:00~16:35)

B会場(8号館・8201室)

司会：坂本 真一・小林 大志

1. ドイツ語から見たゲルマン諸語の属格修飾語と所有表現
一言語の発達サイクルとリサイクル 清水 誠
2. 派生動詞の構造複雑化と分布変化 黒田 享

3. Gendern im DaF-Unterricht in Japan: Ein Praxisbericht Ruben Kuklinski
4. ドイツの小学校ドイツ語科の学習指導要領において移民背景を持つ子供の
出自言語に付与されている意義の分析 小西 優貴

ドイツ語教育部会招待講演 (16:40~18:10)

B会場 (8号館・8201室)

真嶋 潤子 (大阪大学名誉教授、ケルン大学客員研究員)
日本の外国語教育への「CEFR-CV (CEFR 補遺版)」のインパクト

ブース発表 (14:40~16:10)

(ブース発表は途中での出入り自由です)

C会場 (8号館・8202室)

YouTube を活用したハイブリッド型授業構築の試みーコロナ後の初修外国語教育の可能性を探るー
川村 和宏 (共同発表者: 熊谷 哲哉)

ポスター発表 (13:00~14:30)

(ポスターは期間中を通じて掲出されています)

D会場 (10号館・X201室)

Vergleich der Interessensbekundungen Studierender vor und nach Beginn der Corona-Pandemie und Vorstellung von SRS-Lernapplikationen
Lars Bauer

E会場 (10号館・X204室)

Verwendung von YouTube-Videos im japanischen Deutschunterricht Axel Harting

第2日 5月8日 (日)

シンポジウム II (10:00~13:00)

A会場 (8号館・8101室)

発話を越えたところに及ぶ文法の可能性: 話し手指向性と聞き手指向性

司会: 森 芳樹

1. ドイツ語の副詞節および補文の統語構造と意味論 伊藤 克将・森 芳樹

- | | |
|--------------------------------|-------|
| 2. ドイツ語命令文に於ける聞き手の統語的実現 | 藤井 俊吾 |
| 3. 日本語の副詞モウの超過用法と感嘆文 | 宮田 瑞穂 |
| 4. ドイツ語の sein + zu 不定詞における経験者項 | 高畑 明里 |

口頭発表：文学 I (10:00～11:55)

B 会場 (8 号館・8201 室)

司会：新野 守広・馬場 大介

1. 初期ドイツ語圏のサイエンス・フィクション (SF) における物語られた出来事の連続と時空間——ルートヴィヒ・アンツェングルーバーの暦物語『石割りハンスのメルヒェン (Die Märchen des Steinklopferhanns)』(1874/1880) を例に 徳永 菜摘野
2. 『ツァラトウストラ』におけるニヒリズムの問題
— 超人と永遠回帰思想をめぐる— 考察 — 網谷 優司
3. 「父の不在」の不在——ペーター・ヘルトリング『ヘルダーリン』の伝記批判的方法 益 敏郎

口頭発表：文学 II (10:00～11:15)

C 会場 (8 号館・8202 室)

司会：吉田 治代・松原 文

1. Das fremde Irren, das sind wir – Robert Musils Der Mann ohne Eigenschaften und Gerhard Roths Werkzyklen als Schwellenkunde einer stummen Ver-rücktheit zwischen literarischem Wahn und primitivem Sinn Manuel Philipp Kraus
2. Koloniale Erinnerungskultur
Kalendergeschichten aus der Südsee Thomas Schwarz

ポスター発表 (10:00～13:00)

(ポスターは期間中を通じて掲出されています)

D 会場 (10 号館・X201 室)

E 会場 (10 号館・X204 室)

閉会の挨拶 (13:00～13:10)

A 会場 (8 号館・8101 室)

立教大学 坂本 貴志

研究発表会期間中、上記のプログラムに加えて、書店・出版社等による書籍展示が行われます。

交通と会場のご案内

研究発表会場：立教大学池袋キャンパス 8号館・10号館

最寄り駅：池袋駅（JR 山手線・埼京線・湘南新宿ライン、地下鉄東京メトロ丸の内線・有楽町線・副都心線、西武池袋線、東武東上線）下車、徒歩約7分

羽田空港から池袋駅までのアクセス：

- ・京急線を利用：品川駅で乗り換え、JR 山手線・池袋方面に乗車。約1時間
- ・モノレールを利用：浜松町駅で乗り換え、JR 山手線・池袋方面に乗車。約1時間
- ・リムジンバスを利用：「池袋エリア」行きに乗車、「池袋駅西口」下車。約1時間

Informationen zum Tagungsort

Die Tagung findet auf dem Campus der Rikkyo Universität in den Gebäuden 8 und 10 statt.

Adresse: 3-34-1 Nishi-Ikebukuro, Toshima-ku, Tokyo 171-8501

Nähere Informationen unter URL: <https://english.rikkyo.ac.jp/map/index.html>

学校法人
立教学院 (池袋)
アクセスマップ



2021.10

学校法人
立教学院 (池袋)
構内案内図

「タッカー門」あるいは「学院北門」をご利用ください。
 Bitte verwenden Sie „Tucker-Tor“ oder „Gakuin-Kita-Tor“.

